

第2学年技術・家庭科家庭分野学習指導案

日 時 平成27年11月11日(水)

場 所 八幡平市立西根中学校 2年1組教室

学 級 2年1組(男子17名女子18名 計35名)

授業者 渡邊 幸子

1 教材名

② 快適に住まう 2 安全な住まい

2 教材について

(1) 生徒観

家庭科の学習には、意欲的に取り組んでいる生徒が多い。その反面、毎日の生活は部活動や学習に時間が取られ、家庭の仕事に関わっている時間や機会が少なく、衣食住のほとんどを家の人にやってもらっている状態である。また、家庭での手伝いについても、全くやらない生徒と毎日食事を作っている生徒との経験の差は大きい。そこで授業では、実験や調査、視聴覚教材等を使って、どの生徒も自分の生活に関心を持ち、家庭での実践につなげることができるように授業に取り組ませたい。

(2) 教材観

② 快適に住まうでは、住居の機能と住まい方に関する学習を通して、自分の家族の住空間に関心を持ち、住居の基本的な機能や安全に配慮した室内環境の整え方を知るとともに、安全で快適な住まい方を考え、具体的に工夫することをねらいとした題材である。

小学校での整理整頓、清掃の仕方・季節の変化に合わせた生活の大切さについての学習をふまえ、中学校では家族の安全を考えた室内環境の整え方について考え、安全で快適に住まうための工夫を考えさせていきたい。

言語活動については、生活における課題を解決するために、資料、既習事項、個々の経験を基に考え、より生活につながる工夫を引き出すために小グループでの話し合い活動を設定したい。

(3) 指導観

住居の基本的な機能を知るために、簡単な住空間の構想を扱う。また、各自の家族構成や経験が異なることから、モデルの家族を使って授業を進めていき、まとめでは、自分の住生活についての振り返りをさせたいと考える。まず、住まいの住空間と生活行為とのかかわりについて考え、住居についての基本的な役割について分かるように指導していきたい。

また、家族が安全に暮らしていくための室内環境の整え方や備えについて知り、家庭内の事故の防ぎ方、自然災害、空気調整、音と生活などの視点から快適に暮らしていくための工夫をさせていきたい。

言語活動を通して、自分の考えを持ち、さらに互いの考え方に触れるグループでの話し合いの中で、考えを広げたり、深めることができると考えた。これにより、住生活をよりよくするための工夫につなげていきたい。

3 題材の目標

住居の機能と住まい方に関する学習をとおして、自分や家族の住空間に関心を持ち、安全に配慮した室内環境の整え方を知るとともに、安全で快適な住まい方を考え、具体的に工夫できるようにする。また、布を用いた物の制作を通して、自分の家族の住生活を豊かにするための工夫ができるようにする。

4 題材指導計画と評価計画

時間	学習課題	評価規準			
		生活や技術への関心・意欲・態度	生活を工夫し想像する能力	生活の技能	生活や技術についての知識・理解
1	1 ①住まいの働き 住まいの働きと、住まいに必要な空間と役割について知ろう	住まいの役割について関心を持って取り組んでいる。(観察)			住まいの役割について理解している。(テスト)
	言語活動	・住まいの役割について、根拠を明らかにした考えを持つ(個人)			
2	②共に住もう 住まいの空間と家族の生活行為とのかかわりを考えよう。	住居と生活行為とのかかわりについて関心をもって取り組んでいる。(観察)			住居の基本的な機能について理解している。(テスト)
	言語活動	・家族構成と空間のかかわりについて根拠を明らかにした考えを持つ(個人)			
3 本時	2 ①住いの安全対策 誰もが家庭内で安全に生活するためにどうすればいいのだろう		家庭内事故の防止のための課題を見つけ、安全な整え方住まい方について考え、工夫している。(記述)		
	言語活動	・資料より、住まいの安全対策について考える。(個人) ・住まいの安全対策について話し合う(小グループ)			
4	②災害への備え 災害の際、安全の住まいの整え方や備えはどうあればいいのだろう。		災害への備えのための課題を見つけ、安全な整え方住まい方について考え、工夫している。(記述)		
	言語活動	・資料より、住まいの災害対策について考える。(個人) ・災害対策について話し合う(小グループ)			

5	3①室内の空気調節 室内の空気調整について学び、健康に配慮した生活をするためにはどうしたらよいか。	快適な室内環境のために空気調整に関心を持ち取り組んでいる。 (観察)			快適な室内環境のために空気調整について、健康的な整え方や住まい方について具体的な方法を理解している。 (テスト)
	言語活動	<ul style="list-style-type: none"> ・資料より、空気調整について考える。(個人) ・室内の空気調整について話し合う(小グループ) 			
6	②住まいと音 生活騒音に対し、適切な防音対策を考えよう。		生活の中の音に課題を見つけ、住まい方について考え、工夫している。(記述)		
	言語活動	<ul style="list-style-type: none"> ・資料より、住まいの防音について考える。(個人) ・住まいの防音について話し合う(小グループ) 			

5 本時の指導

(1) 本時のねらい

家庭内事故の防止のための課題を見つけ、安全な整え方住まい方について考え、工夫している。
【生活を工夫し創造する能力】

(2) 評価規準

評価の観点	評価規準	言語活動の工夫
生活を工夫し創造する能力	家庭内事故の防止のための課題を見つけ、安全な整え方住まい方について考え、工夫している。(記述)	<ul style="list-style-type: none"> ・資料から見つけた課題を自分の言葉でまとめる時間を保証する。 ・自分の意見を記入し、グループで話し合う。

